



是永 宙 議員

社会教育を核とした若者参画・定着のまちづくりについて

社会教育をまちづくりの柱に位置づけて、全庁横断的な体制を検討してはどうか

官民を問わず、高校生や若者との関わりを高めるための仕組みづくりについて議論を重ねます

持つための機会づくりが必要であると認識しております。

社会教育をまちづくりに活かすことは、地域の人々が学びを通じて主体性や協働の力を育むことにつながり、多様な住民が課題解決に向けて行動する土台が生まれるため、強い地域づくりの鍵となる。

答 教育総務部長

高校生が自分の得意を活かして地域で活躍する場を創出してはどうか。

答 教育総務部長

高校生にとって図書館が気軽に集える空間となるよう検討を進めているのです。こうした取組を入口に、高校生と地域とのつながりを段階的に広げてまいります。

高校生や若者が地域で活躍できる仕組みづくりについて、どのような課題があるか。

答 教育総務部長

高校生が地域と関わる環境が十分に整っていないことが課題であることから、若い世代が少しすつとも地域とのつながりを

具体的にどのような空間づくりを目指すのか。

「こども・高校生・若者とつづく社会教育モデルの構築

には、教育委員会と市長部局との連携が重要と考えるが見解は。

答 教育総務部長

高校生や若者が地域とつながるきっかけづくりの場を、市長部局とも情報共有を図りながら、段階的に広げていくことを検討していきます。

答 教育総務部長

図書館を「高校生にとってのプラットホーム」と位置づけ、学ぶ環境の確保に加え、部活動の発表の場、レイアウトの工夫など、利用のしやすさに配慮した空間づくりや仕掛けの検討、さらに地域活動への参加について市長部局がこのプラットホームを活用できるよう、連携の方法等について検討を進めたいと考えています。

答 市長

社会教育はすべての世代にとって重要であり、地域の活性化にとってなくてはならないと考えます。

答 市長

社会教育をまちづくりの柱に位置づけて、全庁横断的に進めるための体制を検討してはどうか。

社会教育はすべての世代にとって重要であり、地域の活性化にとってなくてはならないと考えます。